

ノーリフティング ケア 普及啓発事業 報告会

医療法人きらり
重度認知症デイケア
かおりの家



医療法人きらりの紹介

Dr.盛次診療所

重度認知症
デイケア
かおりの家

デイサービス
センターかおり

わたしたちの理念

- ①『酸いも甘いもかみ分けて、何でも話し合える大家族を作る』
- ②『高齢者が自分らしさを発揮できる』
- ③『世間に遠慮しない、社会に迷惑をかける』
- ④『高齢者も家族も安心して生活できる』
- ⑤『最期の瞬間まで一緒に過ごす』
- ⑥『高齢者の尊厳を高める事のできる職員を育成し、社会貢献する』

ノーリフティングケアの取り組み

- ・令和3年度にDSかおりでモデル事業所に応募
- ・ノーリフティングケアの基礎を学ぶ

- ①利用者さんの高齡化だけでなく職員側の加齡…
- ②重介助を必要とした利用者さんの逝去が続いた
→せっかく学んだ技術を業務に活かせなくなった
- ③新人職員に統一した指導ができていない
→ノーリフティングケアのリーダーとなる職員がいない

職員の腰痛状況

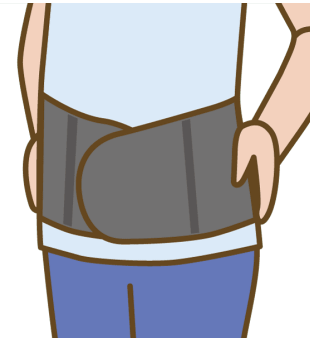
- ・移乗場面において、負担を感じていると答えた職員

介護職13名中、10名が腰痛あり

- ・トイレへの移乗動作
- ・ベッド、畳への移乗動作
- ・シャワーキャリー等への移乗動作
- ・送迎車への乗りこみ(デイと自宅の2つの空間)

腰痛に対する取り組みと目標

- 全職員へ骨盤ベルトを支給(福利厚生)
- 始業前のラジオ体操を日課として実施



- 新人職員への指導において、統一した指導内容を獲得
- 地域密着型デイとして、地域へノーリフティングケアの普及を図る

法人全体で
ノーリフティングケアの習得を目指す



新たに取り組むようしたこと

①職員への抜き打ちテスト(習得度チェック)

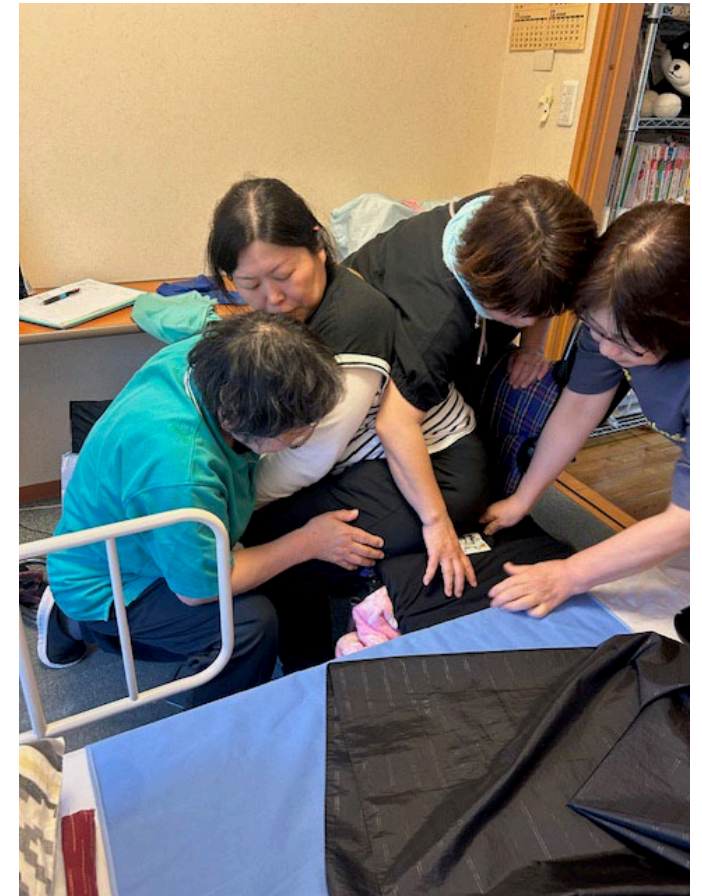
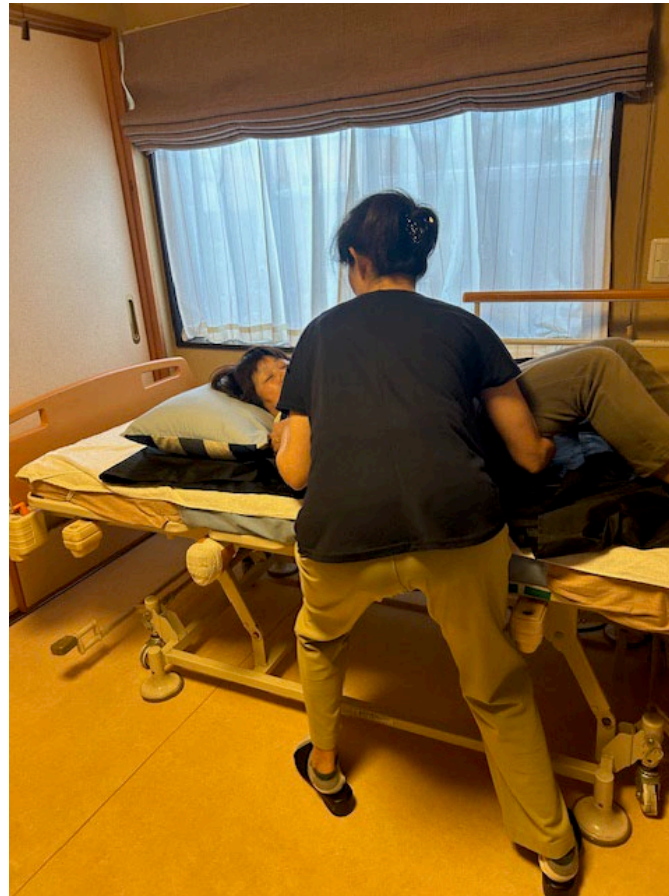
②法人全体での研修会の開催

③他施設の訪問・見学

④新規利用者等、ケア方法統一のための勉強会の開催(随時)

⑤デイサービスとデイケアでの派遣体制

①職員の習得度チェック



②法人全体での研修会



ポジショニングの実践

- 難聴
- 円背
- 大転子部の発赤
- 踵の褥瘡



- 安楽
- 食事量UP
- 発語量UP
- 覚醒度UP

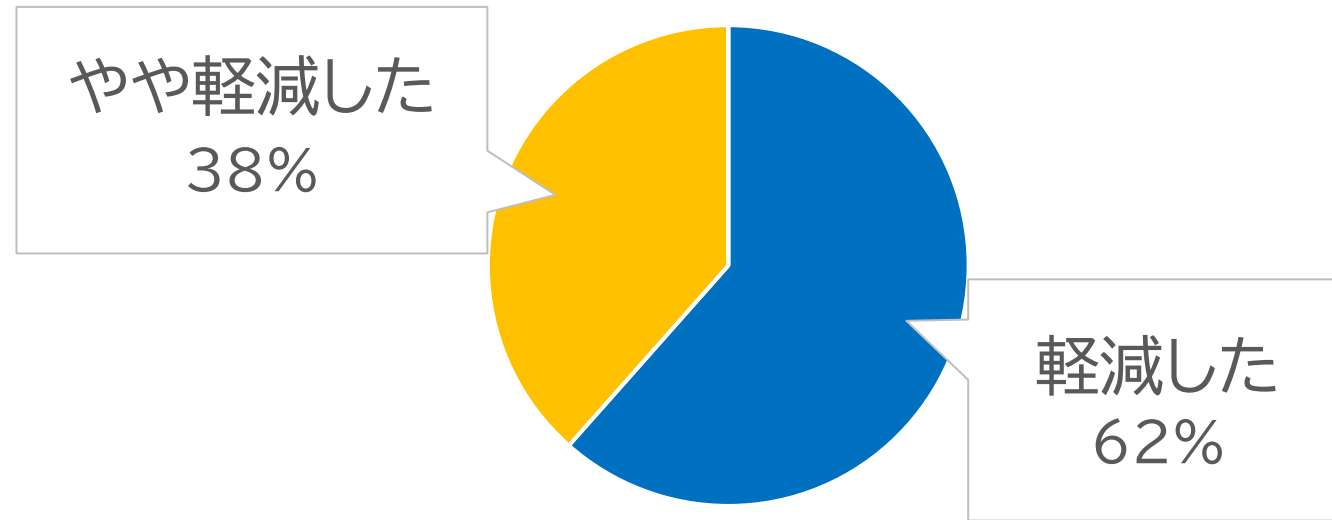
⑤ デイサービスとデイケアでの派遣体制

- ・過去の失敗を繰り返さない
- ・ノーリフティングケアに日常的に関わる体制を作る



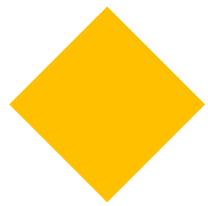
ノーリフティングケア導入後の変化

ノーリフティングケアを導入したことによって、
身体的負担は軽減したと思いますか？

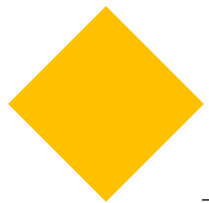


- 軽減した
- やや軽減した
- ほとんど軽減しなかった
- まったく軽減しなかった

ノーリフティングケア導入後の変化



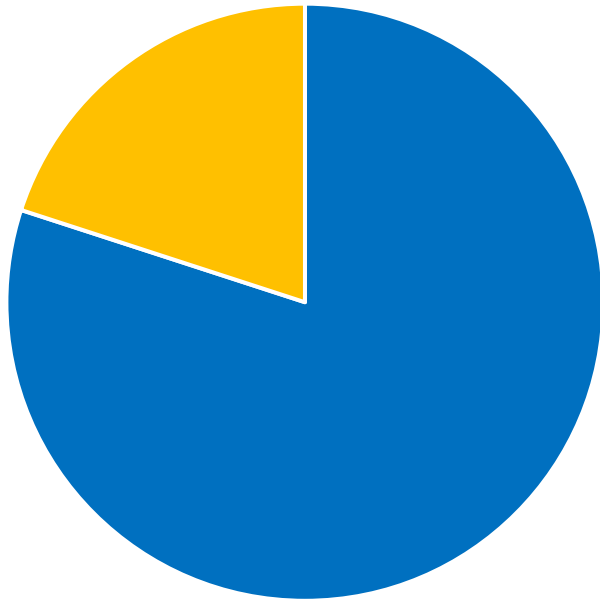
日常や介護での姿勢を見直し、
負担軽減できる姿勢を意識するようになった



ノーリフティングケアの考え方を
今後も継続していくべきだと感じている

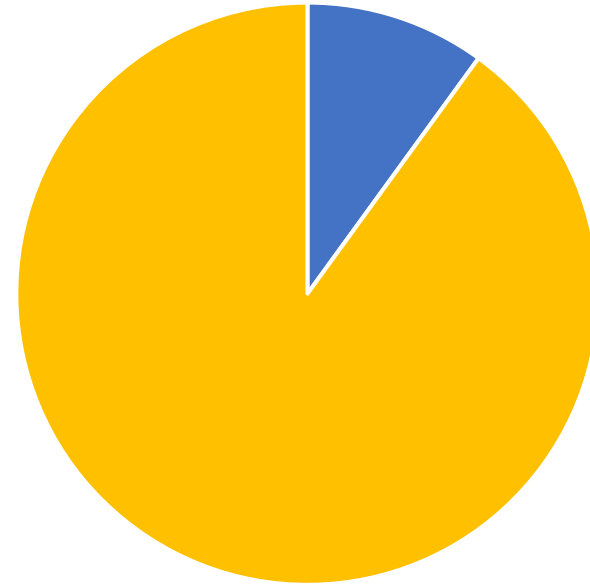
独自のアンケート調査

ノーリフティングケアという言葉を知っていますか？



■ 知っている ■ 知らない

今現在腰痛がありますか？



■ 腰痛あり ■ 腰痛なし



参加していただいたCM・ヘルパー・家族の方の体験コーナー

- ベッド上での摩擦軽減シートの活用法
- スライディンググローブを用いた圧抜き方法
- 腰痛体操の紹介

家族・CM・事業所からの声

【ケアマネより】

自分自身、元ヘルパーをしていた時に持ち上げる介助で腰を痛めた経験がある。

今後もノーリフティングケアの勉強を続け、ヘルパーへの周知を図りたい。
ノーリフティングケアを提案していきたい。

【訪問看護より】

デイでノーリフティングケアを知り、摩擦軽減シートを使ってみたいと上司に相談したところ、早速導入できるようになった。

【家族より】

圧抜きを体験したが、とても気持ちよかった。母にも是非気持ちのいい思いをしてもらいたい。

【家族より】

母が今後動けなくなったときはどうしようという不安があった。今日勉強することができてよかった。これからも楽になれる介助を1つ1つ教えてほしい。

【家族より】

母が使っている福祉用具の紹介をみて、こんな風に使うんだと勉強になった。

【ヘルパーより】

シートや圧抜きを1から復習できてよかった。自分たちも利用者さんが安楽になれるケアを続けていきたい。今日学んだことは、自社で報告します。

【福祉用具事業所より】

ベッドの高さが低いなと思ったときに、他のスタッフが気がつき声掛けして注意喚起できていたところが、とても素晴らしい。

これからの課題

- 地域へ普及するためにできること
 - 運営推進会議
 - 広報、ブログ等でも取り組みを発信
- 関わる多職種での情報共有、連携
 - 車椅子や福祉用具を導入する際、利用者さんに合ったものを選別したい

医療法人
きらり
第29号

デイサービスセンターかおり 重度認知症デイケア かおりの家 Dr.盛次診療所

個別ケア中心の高齢者デイサービスを中心に、皆様の在宅生活をお手伝いします。
あるがままの自分で、誰にも遠慮せず、自分らしく最期まで生きていける社会を目指します。



目次

管理者より	2
Dr.盛次診療所より	3
デイサービスセンターかおりより	4
デイケアかおりの家より	5
かおりいちご館より	6
両号の行事	7
かおり春大祭	8

理念

『酸いも甘いもかみ分けて、何でも話し合える
大家族を作る』
『高齢者が自分らしさを発揮できる』
『世間に遠慮しない、社会に迷惑をかける』
『高齢者も家族も安心して生活できる』
『最期の瞬間まで一緒に過ごす』
『高齢者の尊厳を高める事のできる職員を育成し、社会貢献する』

デイサービスセンターかおり
〒791-3120 愛媛県伊予郡松前町筒井 1579 番地 1
TEL 089 (961) 6900・FAX 089 (961) 6901

Dr. 盛次診療所 デイケアかおりの家
〒791-3120 愛媛県伊予郡松前町筒井 1540
TEL 089 (961) 6262・FAX 089 (961) 6260

最期の瞬間まで一緒に過ごすために
在宅でも統一したケアを提供したい

ご清聴ありがとうございました



Dr.盛次診療所の
ブログ ↓↓



かおり・かおりの家の
ブログ ↓↓

